

第23回日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会

Fグループリーグ1回戦（8月9日）	天候	晴	風	弱い	ピッチの状態	良	
	気温	27℃	湿度	60%			

コンサドーレ札幌ユースU-15

21分 下田

1

0

—

3

1

—

0

3

鹿島アントラーズ

37分 山田

39分 宮内

67分 宮内

シ ス テ ム	シ ス テ ム
4-4-2	5-3-2
【コンサドーレ】 Gk伊藤 DF坂本・松浦・永井 交代 45分 中川（高木） 56分	MF高木・荒野・小山内・神田・堀米 FW近藤・下田 前（下田）

鹿島アントラーズは、昨年も北海道代表と同ブロック。SSSが2-4で負けた雪辱を期待したい。キックオフはコンサドーレ札幌ユース。立ち上がり5分、キャプテン荒野がアントラーズ選手と交錯、右太ももを痛めピッチから離れるが、どうやら大丈夫のようだ。その後の7分、アントラーズ11番梶野にミドルシュートを打たれる。少々バイタルエリアでのマークの甘さが気になるが、コンサドーレがやや優勢にゲームを進める。15分にペナルティエリア左でフリーキックのチャンス。6番高木が右足で蹴るが、弾道が低くアントラーズ。ディフェンスにクリアされる。その直後、今度はアントラーズがペナルティエリア右でフリーキック。11番梶野が飛び込み、頭で合わせたがクロスバーを超える。お互い単調なボールをトップに入れるゲームが続いていた21分中盤からパスをつなぎ、高木が左サイドへ走りこみ、フォアサイドに詰めていた下田へお膳立て、右サイドキックで丁寧なシュートをゴール右隅に先制する。時折見せるアントラーズの攻撃も、GK伊藤が止める。終了間際に左サイドを走った近藤へ縦パスが通る。GKをかわし追加点と思われたが、角度が無く追加点を奪えず前半を終了した。

後半が始まった。コンサドーレのメンバー変更は無い。一方のアントラーズはFW登録の10番谷川を投入して、攻撃的に出る。それが良かったのか、トップへ入れたボールへちょっと遅れて対応、ペナルティエリアの外だがゴールやや右20mのフリーキックを与えてしまう。アントラーズ6番山田が蹴った左足のシュートは、低い弾道でニアポストを掠めるようにゴールイン。後半が始まって2分、早過ぎる同点弾となってしまった。

気持ちを入れ替えて仕切りなおしと思ったが、その2分後、左サイドディフェンスの対応がまずく、簡単にクロスを放り込まれ、逆転の2点目を失う。45分コンサドーレは6番高木に代わり、7番中川を入れて左サイドからくずしていく作戦。49分アントラーズGKがボールコントロールをもたつくところへ近藤が飛び込み、そのボールが中川へこぼれるが、得意の左足に持ちかえることができずに右足でシュートを打つもゴールマウスをはずす。

その後もコンサドーレペースでゲームは進む。55分ついに決定的場面が生まれる。近藤から下田へワンツースが通り、アントラーズディフェンスが堪らずファウルで同点となるPKが与えられた。もちろんキッカーは近藤。強烈なシュートは中央やや右へ蹴られた。GKは逆を取られたが、残った左足でクリアされ、絶好のチャンスをつぶす。しかし絶対に追いつきたいコンサドーレの猛攻は続く。何度もゴールマウスに詰め寄るが、得点とはならない。特に23番堀米が左サイドからディフェンス2人をかわし、ペナルティーエリアに侵入。プルバックに合わせた小山内のシュートは、あまりにもフリーだったのが裏目に出て、バーを越えてしまったのが悔やまれる。

このまま試合終了かと思われた67分、不用意に中盤でボールを奪われ、リーグ戦には痛い、3点目を献上してタイムアップ。スコアは1-3だったが、コンサドーレが3-1で勝ってもおかしくない内容だっただけに、後半立ち上がりの連続失点が命運を分けた。

戦評 加藤 孝俊